

子どもたちへの支援に役立つ情報を伝える

# 中河内ブロック支援通信

## 子ども一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を見つけよう

「言葉話すのは難しい…でもあいさつをしたい！気持ちを伝えたい！発表をしたい！」  
今回は子どもの「やりたい！」を実現するコミュニケーション機器 VOCA を紹介します

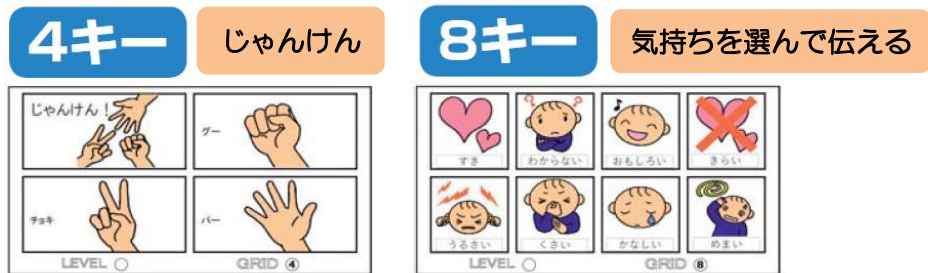
VOCAとは、Voice Output Communication Aidの略称で、音声を出力するコミュニケーション機器です。自分の考えや意思を相手に伝えるためのツールで、音声出力機能が備わっているのが特徴です。ボタンを押すことであらかじめ録音されている音声を出力することができます。授業や朝の会、行事等さまざまな場面でVOCAを活用することで、子どもの主体性や意欲を引き出すことができます。あらかじめ録音された音声であっても、子どもたちが場面に応じてタイミング良く出力するメッセージは、本人だけでなく、周りの人にも大きな影響を与えていきます。

### スーパートーカー



1つ～8つの枠にイラストを入れて、それぞれにメッセージを録音・再生できるVOCA。表示するイラストの数は簡単に変更できます。

#### 実践例



複数のメッセージを録音し、スイッチを押すとメッセージを順に再生できるVOCA。再生したいメッセージがあらかじめ決まっている時に使うと便利です。

### ステップバイステップ

#### 実践例 朝の会（日直の仕事）

- ①「今から朝の会を始めます」
- ②「時間割の確認をします」
- ③「何か連絡はありませんか」

スイッチを押すと、  
①→②→③の順に1つずつ再生されます。



### トーキングブリックス

内蔵されている磁石で黒板や壁に貼り付けることができる、簡易的なVOCA。タテ、ヨコに連結させたり、ボタン部分にイラストを挟み込んだりすることができます。



#### 実践例 様々な場所に張り付け、その場所でやるべきことを「目と耳」で確認する

- 「ここは1年1組の教室です。勉強の時間です。」  
「ここは〇〇さんの下駄箱です。靴を履き替えましょう。」  
「ここは〇〇さんのロッカーです。鞆を置いて自分の席に座りましょう。」



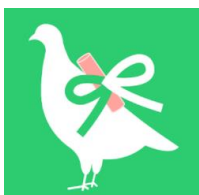
「機器は高くて買えない…」という場合は、タブレット端末等で手軽にコミュニケーションツールアプリを使用することができます！

読み上げ機能付き絵カードアプリ

コバリテ・コミュニケーション

Homer

えこみゆ



VOCA やスイッチ等のコミュニケーションツールは「使う」事が目的ではありません。利用する人がいろんな事に参加したり経験したりして、本人がやりたいことを実現するための1つの手段です。「〇〇さんはこんな事を伝えたいのかな？」と使用する人の気持ちを汲みとることが大切です！

こんな VOCA も  
あります！

「日常で使う電化製品は操作が難しい…でも自分で動かす体験がしてみたい！」  
そんな子どもには… **VOCA・シンプルテクノロジー**

電化製品をスイッチで操作するための機器。  
自分がスイッチを押したタイミングで物が動くことで因果関係の理解が深まります。

ウゴキんぐ



実践例

フットバス

スイッチ操作でフットバスからブクブクと泡と振動がやって来る！



調理用ミキサー

フルーツジュースを作ったり、絵の具を混ぜて色の変化を楽しんだり



いろいろな種類の VOCA や子どもたちが実際に VOCA を取り入れて活動している様子を見たいという方は、  
東大阪支援学校へ見学にぜひおこしください(\*^-~\*)